

第8章 計画目標

地域公共交通網形成計画の方針に応じた、目標を設定しました。

方針	評価項目	現況値	目標	備考
方針1 住民の足となる公共交通サービスを提供する	路線バス及びコミュニティバスの利用者数	26,253人/年	現状維持	寒田線及びコミュニティバスの利用者数。現状は平成29年度の実績
	公共交通の満足度	2.6点	3.0点	アンケートで把握、5段階評価の中間を目標に設定
方針2 公共交通サービスと運賃負担のバランスをとりながら効率化をすすめる	コミュニティバスの利用者一人当たりの財政負担	1,225円	1,000円	
	山間部のエリアから市街地までの運賃格差	360円差 (100円～460円)	現在より縮小	現状は寒田線の上寒田～築城駅の460円とコミュニティバスの100円を比較
方針3 町内外の公共交通サービスが連携した円滑な移動環境をつくる	椎田駅にアクセスする路線数	4路線	増加	現状：国道10号線、真如寺線、極楽寺線、岩丸線
	築城駅にアクセスする路線数	6路線	増加	現状：郡界線、豊津線-築城駅便、寒田線、築城巡回線、八津田地区線、国道10号線
方針4 公共交通を利用しやすい環境をつくる	公共交通マップの作成	—	実施	
	バスの案内のわかりやすさ	2.5点	3.0点	アンケートで把握